

福岡県米麦大豆生産改善速報 第5号

令和3年10月6日
福岡県
福岡県米麦品質改善協会

大豆の生育概況と今後の対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月12日～9月21日 (71日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	26.9	31.7	23.4	355	1423
前年差(比)	+0.0	-0.2	-0.1	88	198
平年差(比)	+0.2	+0.2	+0.2	87	261

2. 農林業総合試験場における大豆の生育概況

7月12日～9月21日の平均気温は平年に比べて0.2℃高く、日照時間は13%少なく、降水量は261%と著しく多く、寡照・多雨で経過した。本年は、梅雨明けが7月13日と早かったが、8月に入り降雨が続いた。特に8月12日～14日は集中豪雨となり、3日間の降水量は605mmと極めて多かった。

7月12日播の開花期は平年(7月10日播)に比べて4日遅かった。9月21日時点の生育調査の結果、平年に比べて主茎長は5%短く、主茎節数は1.6節少なく、莢数は20%少なく、地上部乾物重は22%軽かった。また、台風14号による強風の影響により倒伏程度は多となった。

7月26日播の開花期は平年(7月24日播)に比べて5日遅かった。8月以降の大雨、台風の影響により主茎長は22%短く、主茎節数は1.5節少なく、莢数は42%少なく、地上部乾物重は56%軽かった。倒伏程度は少であった。

3. 農林業総合試験場農産部における調査成績 (フクユタカ：9月21日調査)

播種期	年次	苗立歩合	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
月.日		%	月.日	cm	節	/m ²	g/m ²	
7.12	本年	96.8	8.23	66	14.1	1069	509	多
(7.16)	前年比(差)	-1.1	-2	127	+0.6	116	103	中
(7.10)	平年比(差)	+2.5	+4	95	-1.6	80	78	-
7.26	本年	77.3	9.4	46	12.0	524	198	少
(7.30)	前年比(差)	-14.9	+1	86	-1.6	150	64	無
(7.24)	平年比(差)	-8.9	+5	78	-1.5	58	44	-

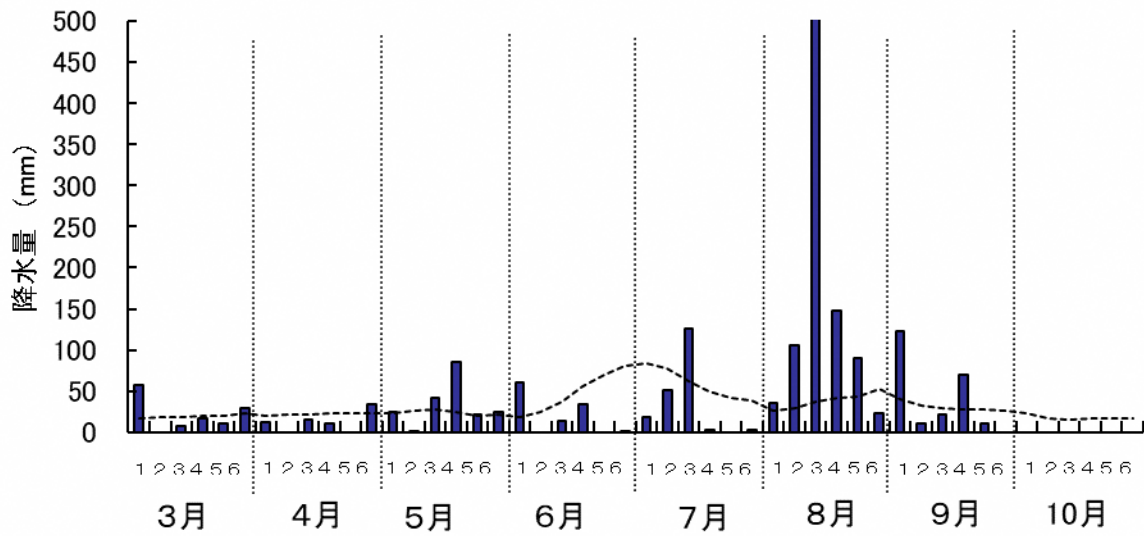
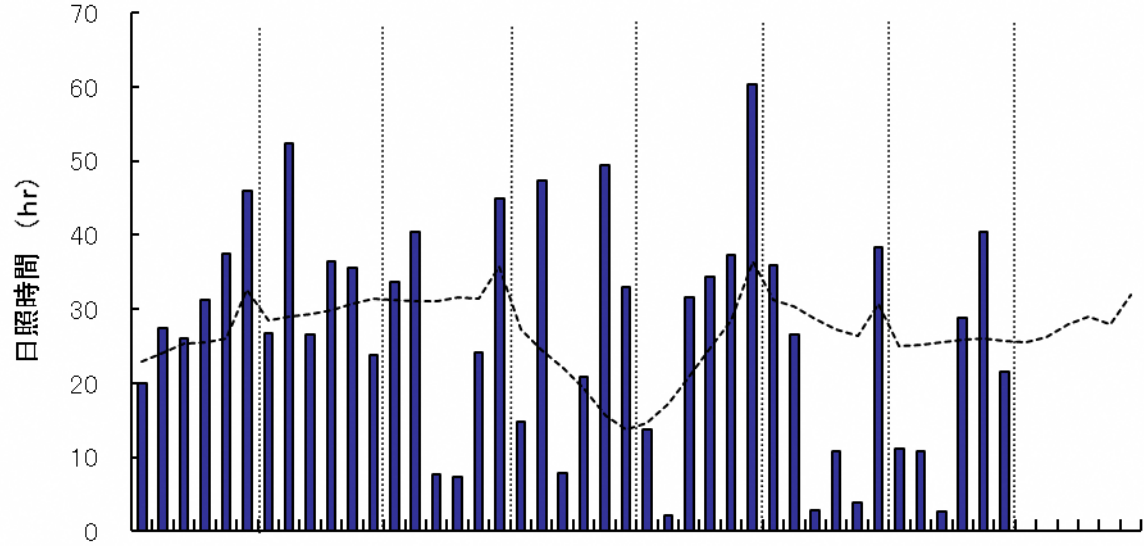
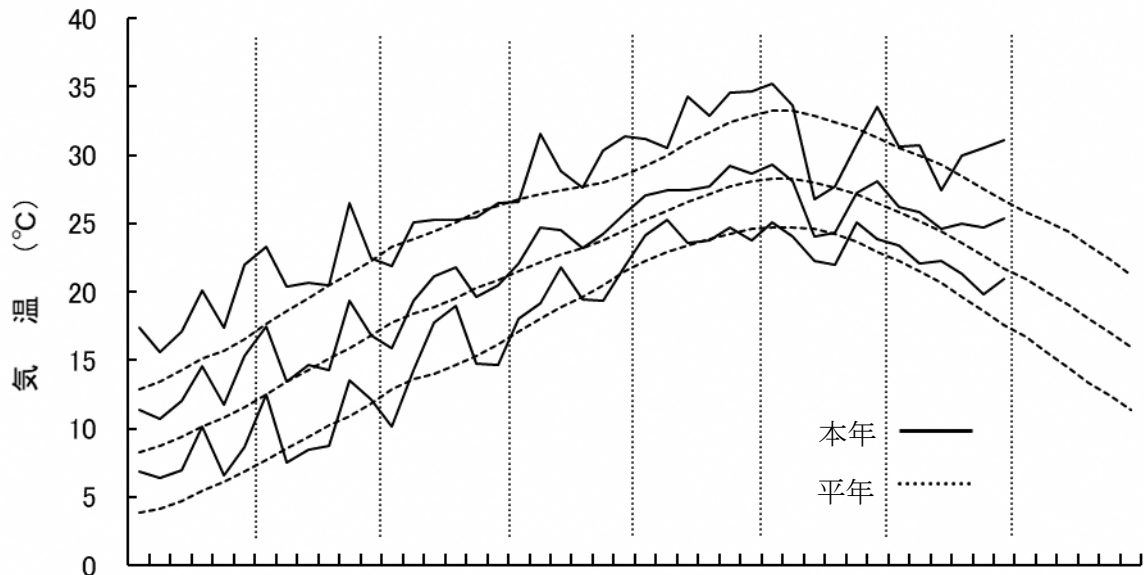
注1) 平年値は平成23年～令和元年の9か年平均値。なお、7月26日播種の平年値は、平成24年～令和元年の8か年平均値。

2) 播種密度 7月12日播：70×20cm(7.1株/m²、2本立) 7月26日播：70×15cm(9.5株/m²、2本立)

3) この数値は暫定値で、今後変更することがある。

4. 今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、紫斑病とともに適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、ほ場内に降雨による停滞水が生じないようにする。雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2021年夏作期間の気象 (太宰府アメダス)